

国際クール宅急便による

販路拡大で地域活性化

日本の「旬」の食材を少量多頻度の輸送で新鮮なままアジア市場にお届けする——ヤマトグループでは、国際クール宅急便を2013年から開始。競争力の高い日本各地の農水産品の海外への販売拡大を支援しています。



お客さまのさまざまなニーズを聞き取り、柔軟に対応



鮮度が重要な生鮮品は保冷機能付トラックで輸送



香港のお客さまへ荷物をお届けする香港ヤマト運輸の車両



香港のレストランで提供される青森県産の活ホタテの刺身

アジア市場で高まる日本食へのニーズ。販路拡大のポイントは、「物流」。

近年、日本の農水産品は食の安全・安心を重視するアジア市場でニーズが高まっています。また、TPP*など貿易自由化に向けた動きに伴って、日本政府も農水産品の輸出拡大、6次産業化を政策として進めています。

しかし、国際間保冷輸送には小口輸送と呼ばれる少量の荷物を運ぶ物流サービスが少なく、農水産品の鮮度を保ったまま輸送する仕組みが求められていました。また、生産者にとっては海外販路の開拓にも課題がありました。

※ 環太平洋戦略的経済連携協定

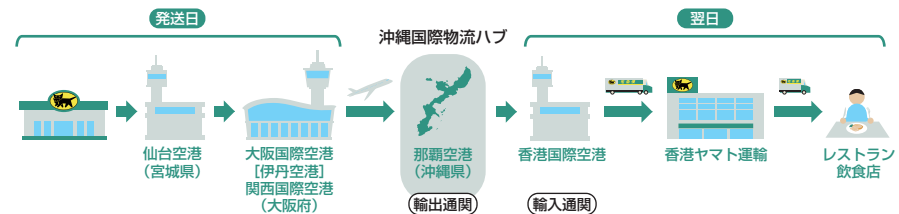
地域経済の活性化を目指す 地方自治体や生産者をサポート。

ヤマトグループでは、こうした課題を解決するために、世界初の国際間一貫保冷小口輸送サービス「国際クール宅急便」を香港向けに開始。その後、台湾、シンガポール、マレーシアへとサービス提供地域を拡大しました。

2016年5月現在、青森県をはじめ7つの地方自治体と連携協定を結び、農水産品の海外市場への販売拡大を支援しています。これからも、グループ各社の持つ「機能」と「ネットワーク」を活かした多面的なサポートで、地域経済の活性化を目指す地方自治体や生産者をサポートしていきます。

▼ 世界初 香港向けの国際間一貫保冷小口輸送サービス「国際クール宅急便」

「24時間365日スピード通関」を実現する沖縄国際物流ハブを活用した輸送リードタイムの短縮、徹底した温度管理による保冷（冷蔵・冷凍）輸送によって、日本の農水産品をより新鮮なまま香港にお届けできます。2016年6月、「国際クール宅急便」は、サービス産業生産性協議会が主催する「第1回日本サービス大賞」において、国土交通大臣賞を受賞しました。



もっと詳しく知りたい方は WEBへ

